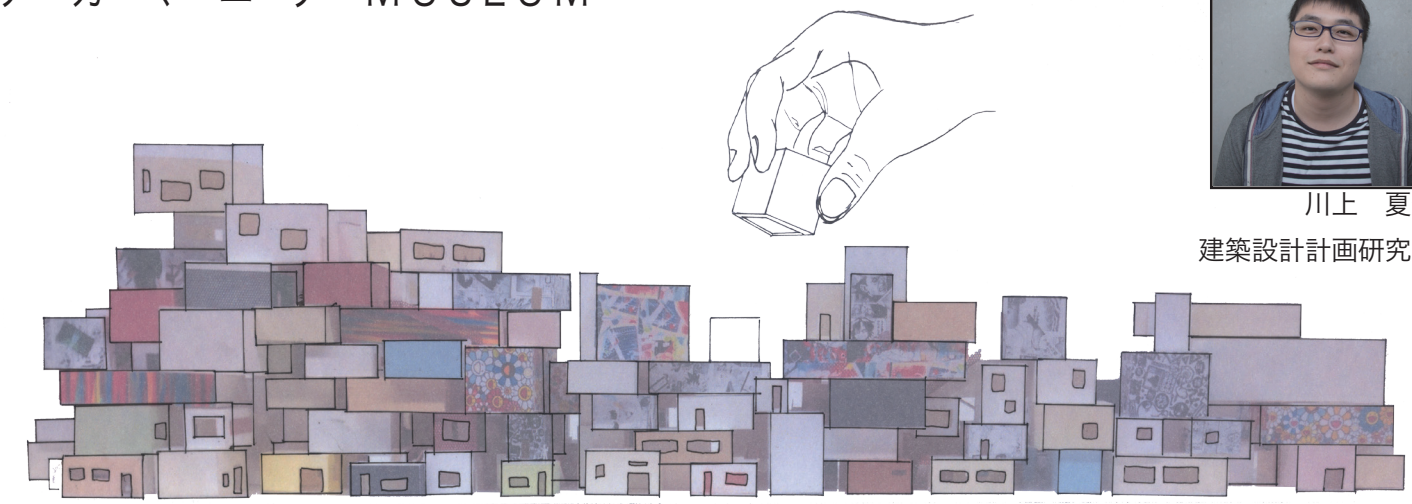
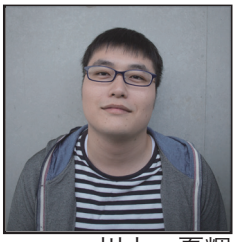
ナ・カ・マ・ニ・ア・MUSEUM





川上　夏輝
建築設計計画研究室

□建築概要

機能…商業、保存、研究

面積　各階　1 階…1920 ㎡　　延べ床面積　7293.5 ㎡
2 階…943.5 ㎡
3 階…1965 ㎡　　建築面積 2070 ㎡
4 階…947 ㎡
5 階…739 ㎡　　仕上げ　RC　木造
6 階…401 ㎡
7 階…180 ㎡
8 階…99 ㎡
9 階…99 ㎡

□プログラム

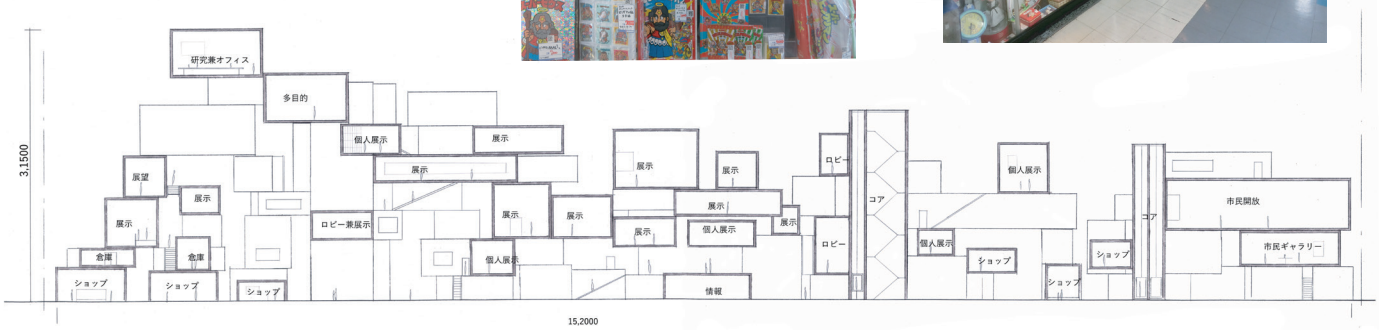
私は文化をアーカイブ化する建築のあり方を提案する。現在日本には、様々な消費文化がある。その中でも、中野ブロードウェイという建築を参考にサブカルチャーの部類に当たるマニアといった文化に着目した。こういった漫画などの文化は漫画などの文化は日本初のコンテンツとして、海外からも高い評価を受け近年国内でも浸透している。こういったサブカルチャーに関する資料は消費され人気が拡大する中で、個人的なコレクションが大半を占めるため今後、資料散漫などの危険があり、文化の発展過程などを研究していく際に困難が訪れると考え設計に至る。

□敷地概要

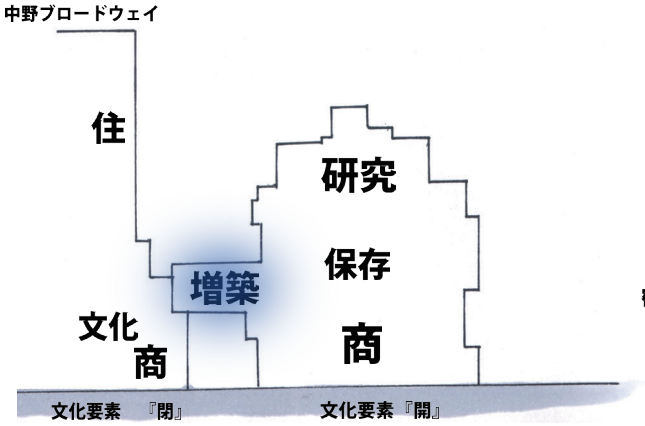
所在地　東京都中野区５丁目
敷地面積　3550 ㎡
用途地域　商業地域
建ぺい率　80%
容積率　600%

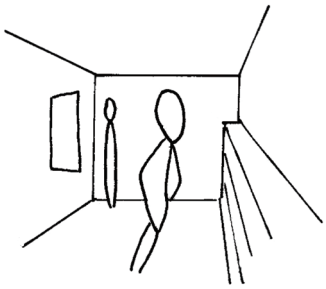
□中野ブロードウェイ

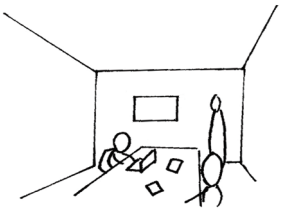
中野ブロードウェイとは東京都中野区に存在する秋葉原に次いでマニアといった文化の拠点と言われ比較的古いものを扱うマニアによる個人経営店が400 店舗密集する大型複合商業施設である。各店舗天井が低く開口が狭いテナントや密度ある文化空間は異様で、魔の巣窟や日本の九龍城砦との異名を持つ。



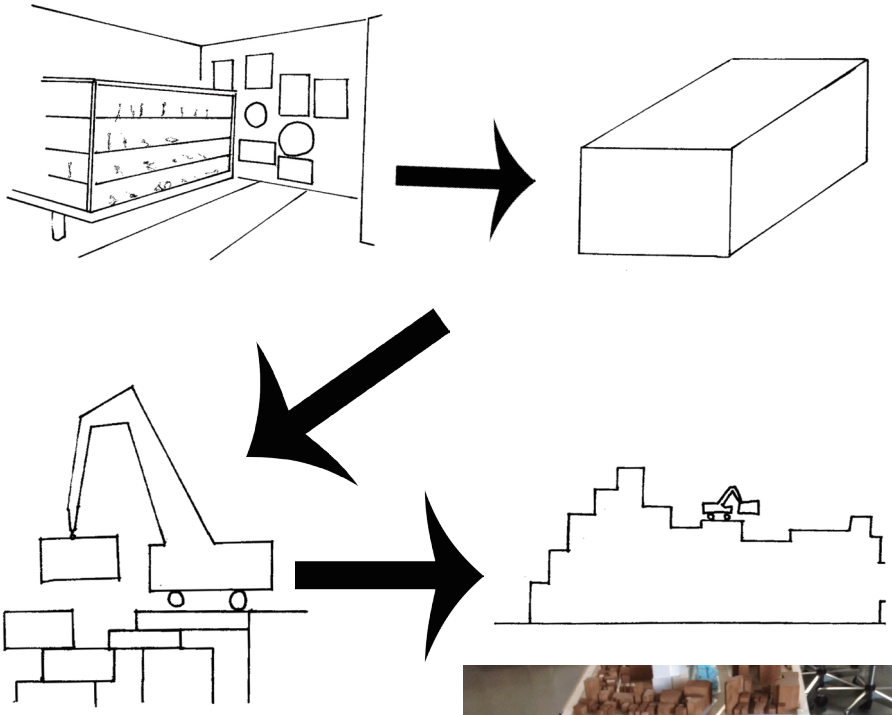
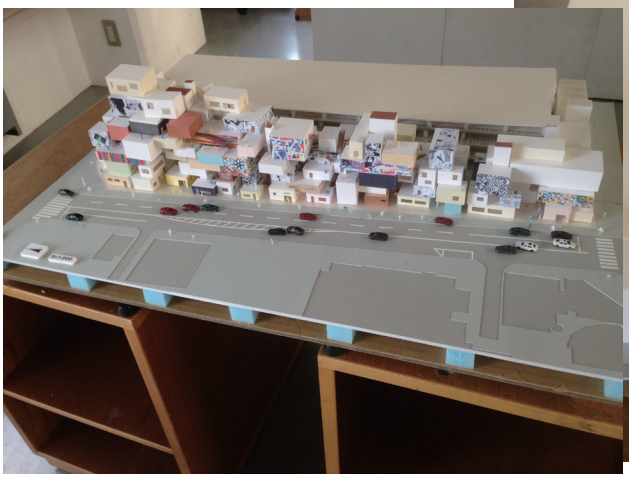
□コンセプト
あ中野ブロードウェイやマニアによる閉鎖感
汚さ密度がこういった文化の魅力を増すものだと考える。
都市において保存する建築のあり方としてブロー
ドウェイに高密度な集合体を増築提案した。




密な空間による文化との向き合い


これらのコンテンツや文化の研究

それらの管理と販売による店舗

□デザイン
　まずこういったマニアにより形成された
店舗や室内空間はこういったコンテンツを
最大限の魅力と解釈、その内部要素が
箱一つ一つに表出されそれらの室内飼いに
階段などの動線が設けられ無造作ながらも
それらが積み重なり文化自体が建築により
構築されていくと仮定した。
そしてそれらがブロードウェイ東側から増
築され中野ブロードウェイが『住』、『商』
という要素に対し『保存』、『研究』という
付加価値が追加され新たな文化拠点として
ブロードウェイの完成形を目指した。

今後文化の発展と同時に保存量も増え
箱が積み重なるように増築され成長し
新たな文化拠点として、中野の風景が
変化しし続けるものを目指した。